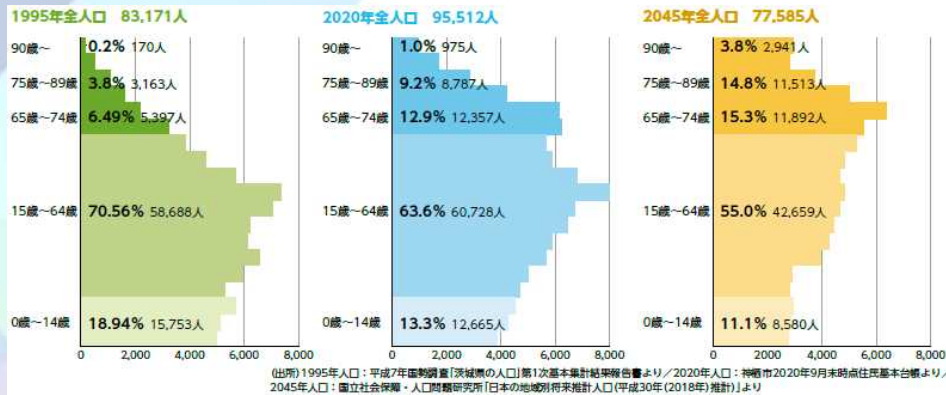


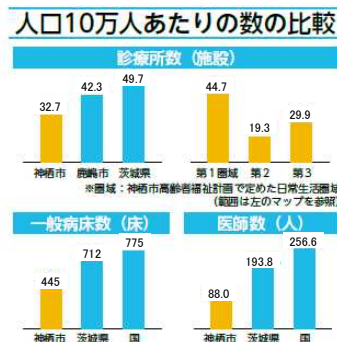
1. 神栖市の人口 2045年には、2020年と比較して人口が約19%減少しますが高齢者数は増加すると推計されます。



2. 医療提供の状況

診療所数や医師数などが国・県平均よりも少ない状況にあります。

神栖市内		
病院	救急機能	2施設
	慢性期機能	2施設
診療所		
31施設		
歯科診療所		
34施設		
在宅医療		
13施設		



3. 神栖市の死因

平均寿命は男性、女性ともに国・県平均よりも低く、また主な死因の多くで死亡比が国平均を上回っています。

平均寿命			
	神栖市	茨城県	国
男	79.5歳	80.3歳	80.8歳
女	85.7歳	86.3歳	87.0歳

(出所)
平均寿命
・平成30年国保特定受診状況データより
主な死因と死亡比
・平成31年茨城県市町村健康指標より

男性の主な死因と死亡比



女性の主な死因と死亡比



4. 市民の市内外受診割合 令和2年度延べ入院患者推計

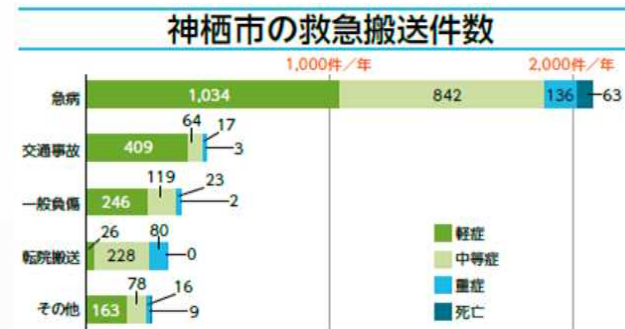
	全 体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
市 内	42.3%	24.5%	34.5%	59.0%	57.6%
市 外	57.7%	75.5%	65.5%	41.0%	42.4%

うち、高度急性期・急性期の疾患別割合

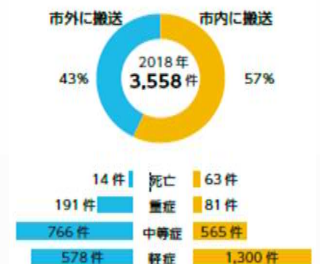
	全疾患	脳疾患	循環器系疾患 (脳疾患除く)	整形外科系疾患	がん
市 内	30.8%	9.6%	58.0%	12.4%	22.9%
市 外	69.2%	90.4%	42.0%	87.6%	77.1%

5. 神栖市の救急搬送数

重症・中等症の多くが市外の病院に搬送されています。



救急搬送先



6. 市民の声

救急医療や夜間診療の充実が求められています。

医療に対する不安

救急医療機関が少なく、急な病気やケガが不安	57.7%
医療機関の質に不安がある	52.3%
高度・専門的な医療ができる医療機関がない	47.2%

充実して欲しい医療機能

救急医療	66.4%
夜間診療の実施	30.8%
がん医療	28.7%
脳疾患医療	21.5%
心疾患	17.6%

議題2 市内の医療の現状と取り組み状況について

7. 施策の体系

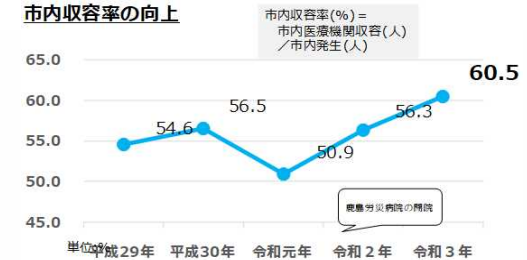


参考：救急受入状況の推移

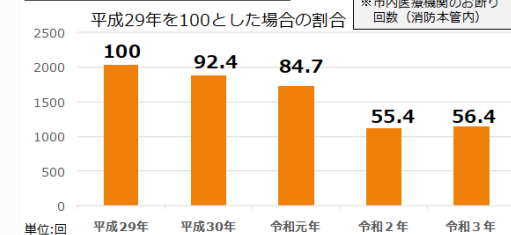
病院収容平均所要時間の短縮



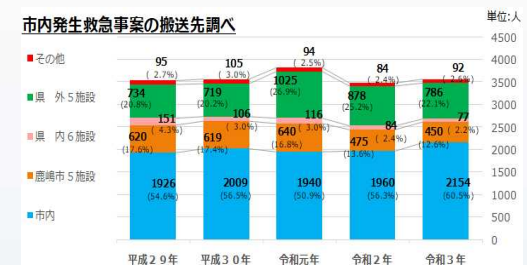
市内収容率の向上



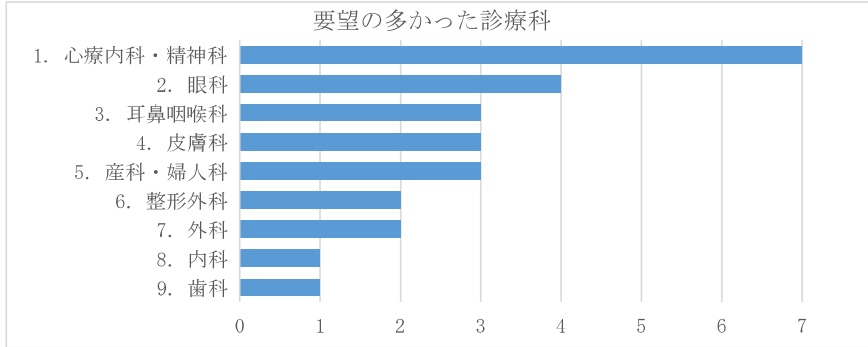
市内医療機関不応需回数の縮減



市内発生救急事案の搬送先調べ



議題 3－1 企業が求める診療科（令和4年8,9月アンケート）



希望する診療科	提出された意見
1－心療内科・精神科	A 平易に受診ができるように、市内での精神科の充実を希望する。
	B 予約なしですぐに受診出来る病院が少ない。休職する方が増えてきており市内の病院の充実を希望する。
	C メンタル不調の従業員が常に数名いる状態です。産業医が紹介してくれる評判の良いクリニックは遠方で予約がなかなか取れないため、市内に専門の病院、クリニックの設置をお願いします。
	D ストレス社会の中、また自殺者が2万人を超える現代社会に併せた、対応対策が重要課題です。神栖市内で精神科、心療内科の充実が必須です。
	E 企業と連携のとれる心療内科・精神科の充実。
	F 神栖市は心療内科、精神科の医者、医療機関が少ないと思うので充実を希望する。
	G 職場において、メンタルヘルス不調者数は一定数発生している。市内において安心して受診できる体制強化を希望する。
2－眼科	A 異物や液体が目に入った場合等に、市内で迅速に治療対応ができることを望む。
	B 専門性が高く手術が出来る医療機関が少ない。市内の病院の充実を希望する。
	C 市内で受診できる眼科が少なく診療が可能であっても、週に数回のみ診療や完全予約制である為、従業員の業務中の怪我や眼に異常があった場合などに、直ぐに対応してくれる眼科があると非常に助かります。また治療が困難であると、市外（県外）の眼科に案内される場合もある為、市内での眼科の充実を希望します。
	D 総合病院（済生会）が完全予約制になっており、急病に対応していないので、随時診療できるよう希望する。開業医も少なく、一つの総合病院に集中して長時間待たされるので、充実を希望する。

希望する診療科	主な意見
3－耳鼻咽喉科	A 花粉症等アレルギーを持っている社員は多いです。専門の病院・クリニックが少なく、波崎地区には無いため遠方の病院へ通うようになります。平日の遅い時間や土曜、休日に社員が休みを取ることなく近くで受診できる病院・クリニックを増やしてください。
	B 開業医が少なく、総合病院に集中して長時間待たされたので、充実を希望する。
	C 専門性が高く手術が出来る医療機関が少ない。市内の病院の充実を希望する。
4－皮膚科	A 従業員の中には油に触れる機会の多い者もいるため、皮膚科の充実を希望する。
	B 総合病院（済生会）が完全予約制になっており、急病に対応していないので、随時診療できるよう希望する。開業医も少なく、一つの総合病院に集中して長時間待たされるので、充実を希望する。
	C 専門性が高く手術が出来る医療機関が少ない。市内の病院の充実を希望する。
5－産科・婦人科	A 時間休を使って診療してもらうことが可能になれば、妊娠中の社員が安心して就業可能になる。
	B 弊社の女性社員は未婚からシニアと幅広く勤務しています。これから妊娠・出産を控えている人や、女性特有の疾病・不調・不安を抱えている人は少なくありません。近隣の個人病院が閉院し、不便な状態が続いています。遠方の病院（鹿島、旭、銚子）に通院するようになるため、安心して通える病院・クリニックが市内に必要です。
	C 神栖市市内で受診できる産科・婦人科が非常に少なく、特に産科は少なく神栖市在住、神栖市内の職場に勤務であっても、鹿島市や銚子市での受診となってしまう為、体調不良等でもすぐに対応してくれる産科・婦人科が神栖市内にあると非常に助かります。神栖市内での産科・産婦人科の充実を希望します。
6－整形外科	A 慢性的な腰痛を持っている人が多数いる。市内の病院の充実を希望する。
	B 中腰や前傾姿勢による業務が多く、従業員の中には慢性的に腰痛や膝痛を訴えるものことから、整形外科の充実を希望する。
7－外科	A 従業員の健康管理の観点というよりは、労災発生時に必要であり更なる強化をお願いしたいものを挙げた。従業員の定着という観点から考えると、全ての診療科の充実が求められる。神栖で出産する事への不安について声を聞き、虫垂炎のような一般的な病気においても神栖で推奨できる病院がないと聴取している。企業としては社員が安心して暮らせるだけの医療体制があって欲しいと思うばかりである。
	B 労働災害発生時への対応として、充実を希望する。
8－内科（総合内科）	A さしあたり不足はないが、様々な症例を相談できる、企業のかかりつけ医。
9－歯科	A かかりつけ医の診療時間外・休診で治療中の歯が夜間突然痛む、歯茎が腫れる、ケガで歯が抜けた場合等、一刻も早く治療したい従業員がいることから市内の歯科の充実を希望する。

企業が求める診療科に対する市内医療機関の状況

※医療機関名は50音順

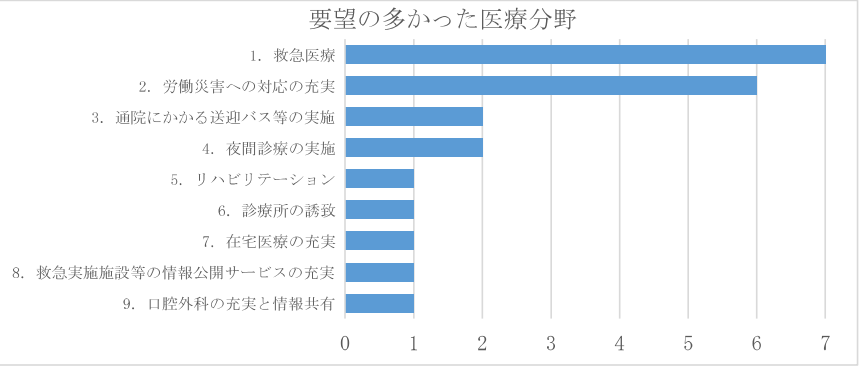
医療機関 診療科	神栖済生会病院		白十字病院		その他 市内医療機関	備考
	診療 状況	取組状況	診療 状況	取組状況		
1－ 心療内科 ・精神科	×	－	×	産業医トレーニングセンターの体制整備に合わせ産業カウンセラー、臨床心理士の配置を進めております。産業医との連携により充実したカウンセリング体制の強化を目指しております。	児玉医院 ※心療内科	
2－ 眼科	○	常勤医師1名に非常勤医師を加えた体制により平日、日中の救急患者の受け入れに努めておりますが、手術中や受傷の程度によっては受け入れをお断りする場合があります。今後も救急患者の受け入れに努めて参ります。外来診療については予約制とさせていただいておりますが、当日の受診が可能な場合もありますので、ご相談ください。また、土合クリニックにおいても週に2回（月・火）眼科外来を設けており、予約枠に空きもございますのでどうかご利用ください。	○	非常勤医師による外来診療を行っています。（週2回～3回）予約制にて白内障手術や加齢黄斑変性症等の眼球内注射を実施しております。	市内3施設 かみす眼科 土合クリニック わだなべ眼科	令和5年6月 新規開院予定
3－ 耳鼻咽喉科	○	外来診療（非常勤医師）については、火曜日および土曜日（第1,2）は医師不在のため休診となっております。10月から、すべての平日および土曜日（第1,2）の診療を開始しております。また、手術については、令和3年度は副鼻腔炎等を中心に年間60件実施しております。	○	非常勤医師による外来診療を行っています。（週2回）手術対応は行っておりません。	市内2施設 西尾耳鼻咽喉科 三井クリニック	
4－ 皮膚科	○	皮膚科外来（非常勤医師）については、週に1回の予約制となっております。予約の取りにくい状況にありますが、熱傷等の救急については、形成外科医師が対応できるよう体制を整えております。しかし、形成外科についても常勤医師1名で対応にあたっているため受傷の状況によっては救急対応をお断りしていることがございます。	○	非常勤医師による外来診療を行っています。（週1回）簡単な手術であれば対応可となっております。	市内5施設 五郎台ファミリークリニック 永木外科胃腸科医院 野口医院 皮フ科内科クリヤマクリニック 三井クリニック	
5－ 産科・ 婦人科	△ 婦人科	産科については、医師および助産師等の人材確保が難しい状況です。 婦人科については、現在、大学病院から非常勤医師の派遣を受けて検診および一般診療の体制を整えております。	○	常勤医師1名を中心に非常勤医師数名（主に婦人科腫瘍専門医）で診療にあたっています。 引き続き医師の充足を図るべく医師確保に努め、ハイリスク分娩等、地域の皆さまの期待に応えられる体制づくりを行っています。 また、婦人科領域につきましては検診、そして精査が必要とされる方への連動した診療体制づくりをより一層強化したいと考えております。	－	
6－ 整形外科	○	令和4年度より、当院で副院長を務める常勤医師1名と、順天堂大学からの医師派遣2名との3名体制となりました。外来診療、手術、救急対応に努め昨年度より、応需件数も増えましたが、地域の医療需要に応えるためには、さらなる医師確保が必要な状況にあります。 手術中の救急対応など、できるだけ応需するよう努めておりますが、受傷の状況や診療・手術の状況により受け入れが難しいこともあります。 膝痛や腰痛などの慢性的な疾患については、土合クリニックを活用するなどご協力をお願いいたします。	○	常勤医師1名及び非常勤医師複数名で診療に当たっています。 外来および入院・手術と対応してはおりますものの、やはり医師の体制から救急依頼に対して十分に对应されていない状況です。 労働災害や交通外傷など幅広く対応できるよう、体制整備に努めます。 なお、特長としてリウマチ膠原病疾患に対しては外科系・内科系それぞれに専門医を配置しており、生物学的製剤治療も行っています。	市内9施設 いきすの森クリニック かしまなだ診療所 河島医院 児玉医院 五郎台ファミリークリニック 済生会土合クリニック 済生会波崎診療所 永木外科胃腸科医院 野口医院	

企業が求める診療科に対する市内医療機関の状況

※医療機関名は50音順

医療機関 診療科	神栖済生会病院		白十字病院		その他 市内医療機関	備考
	診療 状況	取組状況	診療 状況	取組状況		
7－ 外科	○	消化器外科と乳腺外科を中心に診療機能の充実強化に努めており、令和3年度の手術件数は、年間409件と平成30年度の2倍に増加しました。 食道・胃から大腸・肛門までの消化器および肝臓、胆嚢、胆管、膵臓の良性・悪性疾患に対し内視鏡治療、腹腔鏡下手術を導入し、がん化学療法は入院、外来双方で行っています。治療は全て、日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医が対応し、さらには日本医科大学千葉北総病院とも綿密に連携し、同施設への患者様の紹介や同施設からの医師派遣を通じて、常に最先端の検査、治療を執り行うよう努めております。また、超音波内視鏡検査を含む消化器内視鏡検査や大腸ポリープ切除、内視鏡下胆石除去術・黄疸治療（ERCP）、ヘリコバクターピロリ菌の診断、治療も外科で行っております。職場検診で再検査が必要となった場合などお気軽にご相談ください。	○	消化器外科部門を中心に外来・入院、手術対応を行っています。治療にあたっては術後の回復が早く、短期間での退院、早期の社会復帰がかなうよう、できる限り患者さんの負担が少ない低侵襲治療を選択しています。また化学療法についても可能な限り外来で行える体制を作っています。胃カメラ、大腸カメラ検査も外科中心に行っており、医師のほか、学会認定の消化器内視鏡技師を配置して検査を行っています。乳腺につきましては非常勤医師ではありますが日本乳癌学会指導医による専門外来、また呼吸器外科につきましては大学との連携により週2日専門外来を開設しており、大学病院との連携強化にも努めております。また、MRI装置を利用した「無痛MRI乳がん検診」にも対応しております。	市内10施設 かしまなだ診療所 かみす消化器内視鏡クリニック 河島医院 児玉医院 五郎台ファミリークリニック 済生会土合クリニック 済生会波崎診療所 城之内医院 東部地区健康管理クリニック 永木外科胃腸科医院	
8－ 内科 (総合内科)	○	企業の産業医から、当院の地域医療連携室に連絡を頂き状況に応じてスムーズな連携を図ることができる体制を整えてまいります。	○	当院は急性期から回復期、慢性期まで特長のある病棟構成となっております。それを生かして救急医療から症状の安定した方への回復期医療また主に高齢者が中心にはなりますが長期での療養が必要な方への慢性期医療と幅広い症状・疾患に対応しています。 また、専門的産業医の養成や健診部門のより一層の充実に向けて注力しており、産業医・健診部門からの連携体制強化にも努めて参ります。	市内28施設	
9－ 歯科	×	—	○	非常勤医師による外来診療を行っています。（週2回～3回）	市内34施設	

議題 3－2 企業が求める医療分野（令和4年8, 9月アンケート）



希望する医療分野	提出された意見
1－救急医療	A いざという時に、対応が可能なキャパシティに不安を感じる。
	B 救急時に安心してお任せ出来る病院が市内にはない。受け入れを断らないのはもちろんだが、専門性の高い救急時助かる為の病院・医師の充実を依頼したい。
	C 2018年労災発生時に被災者が救急車で土浦協同病院に搬送されました。事故発生時近くに受け入れ病院が無いのは非常に不安です。緊急の高度医療が受けられる病院が近くにあると安心です。
	D 一昨年前、緊急時に対応が可能な医療機関は県外であった。新型コロナウイルスの流行や、熱中症等で救急要請が多く重なった場合に不安がある。
	E 神栖済生会病院を救急告示・災害拠点病院にしてほしい。救急患者や災害時の重症患者を受け入れられる病院。
	F 各専門分野の医師が常駐していないので、急病にすぐ対応してくれる病院が少ない。
	G 労働災害発生時への対応の充実。
2－労働災害への対応の充実	A 労災病院が閉鎖されてから救急時対応してくれる病院が少ない。
	B 第1候補の済生会病院はほとんど受け入れをしてくれない。救急時にいつでも受入れをしてくれる病院の整備をしてほしい。
	C 緊急搬送が不安な案件に対して、迅速な対応が出来る体制を希望する。
	D 万一の事態に備えて、労働災害への対応の充実を希望する。
	E 労災対応に必要なものとして挙げた。現状は、基本的に殆どの中等以上の労災はドクターヘリ対応の必要あり、7月発生の労災(熱水による火傷Ⅰ～Ⅱ度)では成田赤十字病院しか対応できず、搬送に時間を要し、回復までの通院に不便だった。出来る限り地元神栖の医療機関で十分な労災処置が受けられる環境の整備をお願いしたい。
	F 労働災害発生時に適切な労災対応の充実。

希望する診療科	主な意見
3－通院にかかる送迎バス等の実施	A 公共の交通機関が少ないので、車の運転ができない場合に送迎バスがあると非常に助かる。
	B 車社会（神栖市は自動車がないと身動きがとりにくい）なので、介助がなければ自分で運転しないと身動きが取れないが、運転できない時など送迎バスがあれば助かる。
4－夜間診療の実施	A いざという時に、対応が可能なキャパシティに不安を感じる。
	B 勤務時間終了後や土曜日、受診しやすい曜日や時間帯に開業している医療機関が増えると望ましい。
5－リハビリテーション	A 労災後のフォローの充実。
6－診療所の誘致	A 最近内科のクリニックが増えてきた印象はありますが、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科が少なくいつも混雑しています。波崎地区には専門医院がありません。診療所の誘致をお願いします。
7－在宅医療の充実	A 高齢になった時を考えて、退職後に転居をする者が多い。
8－救急実施施設等の情報公開サービスの充実	A 緊急時に的確な行動がとれるよう、救急実施施設等情報公開サービスの充実を希望する。
9－口腔外科の充実と情報共有	A 従業員の中には口のトラブル（顎関節症など）を抱える社員がおります。どの医療機関を受診するべきなど、医療機関から企業に直接情報がほしい。

企業が求める医療分野に対する市内医療機関の状況

医療分野	神栖済生会病院	白十字総合病院	摘要
1－ 救急医療	当院は、救急告示病院となっております。また、令和元年9月に地域災害拠点病院およびDMAT指定医療機関として指定を受けました。今年9月には、関東ブロックDMATの訓練が実施され、関東地区からDMAT隊が当院に参集し地震による津波被害を想定した机上訓練が行われました。 救急医療については、年間の救急車受入台数が、昨年度（令和3年度）は、1,978台となり、平成30年と比較し約600台増加となっております。これは、救急車を断らない体制づくりに努めてきた成果であり、現在、週3回（日中）日本医科大学北総病院から救急科医師の派遣を受けて、更なる充実に努めております。当院は2次医療機関ですので、重症度の高い救急については、3次医療機関にお願いしており、日本医科大学千葉北総病院の救急科との連携を図り、スムーズな転院搬送が可能となっております。日中は、北総病院ドクターヘリ、夜間はラビットカーを要請しつつ搬送するなど、消防本部の協力を得ながら、体制づくりに努めております。 今後も神栖市の住民、勤労者の皆様が安心して住み働いていただくための一助となるよう、救急医療、労働災害への対応体制の整備に努めてまいります。	当院は二次救急受け入れ医療機関として、救急患者さまを受け入れております。例年1500～1600台前後の救急搬送受け入れを行っておりますものの、地域内での救急要請に対して十分には応えられてはいない状況と考えております。 救急搬送時間の短縮が地域の課題であるとされている中、その課題の改善に貢献できるよう、医師の充足をはじめとした体制強化を図り、1台でも多くの救急要請に応えられるよう努めて参ります。	
2－ 労働災害への 対応の充実			
3－ 通院にかかる 送迎バス等 の実施	－	当院では従前より無料送迎バスを運行しております。また神栖市コミュニティバスの2路線で病院内ロータリーに停留所が設けられております。	
4－ 夜間診療 の実施	夜間診療については、当直医師による救急対応となります。 当直医の専門性により、受け入れが難しいこともあります。 毎日、事例検証を行い、極力受診して頂くことができるよう努めてまいります。	当院では診療時間外（平日夜間及び休日）も救急車の受け入れを含め、救急診療を行っています。急患の重症度によっては対応できない場合がありますが、なるべく受け入れできるよう努めてまいります。	
5－ リハビリ テーション	現在、整形外科の常勤医師が3名体制となったことで、外来リハビリも可能となっております。担当医と相談の上リハビリテーションの継続をご検討ください。	理学療法士、作業療法士また言語聴覚士を配置しており、外来および入院患者さまへのリハビリテーションにあたっています。 また、入院病床のうち40床が地域包括ケア病棟（ポストアキュート・サブアキュート）であり在宅復帰に向けたリハビリテーションを積極的に行っております。	
6－ 診療所 の誘致	－	－	
7－ 在宅医療 の充実	現在、総合診療科医師による訪問診療を行っております。 神栖市内において訪問診療を実施している医療機関と連携し、緊急時には当院で対応ができるよう体制強化を図っております。	当院では、キャンパス内に特養や老健などの介護保険施設や訪問看護等の在宅支援施設を併設しておりますので、施設間での連携を図り地域の在宅医療に貢献していきたいと考えています。	
8－ 救急実施施設等 の情報公開サ ービスの充実	－	－	
9－ 口腔外科の充実 と情報共有	－	－	

議題4 医療体制づくりへの企業の参加と協力について

みんなが創る、みんなで守る、かみすの医療

市民・企業への対応・市民等の主体的参加や貢献

【対策・方向性】

- (1) 市民・企業の不安解消に資するよう、本報告書に掲げる各種の対策・方向性に沿った体制整備に努めるとともに、地域医療体制の現状や課題、現在や今後の取組等を市民にわかりやすく説明していくなど、地道な努力を継続する。
- (2) 市民・企業に市内の医療実情を理解いただくための情報提供を行う。
- (3) 市民の健康意識向上、健康診断の受診促進を啓発する。
- (4) 救急車の適正利用やかかりつけ医の必要性、コンビニ受診の抑制、在宅での看取り、健康診断の積極的受診等、より良い地域医療体制を構築できるよう、市民等の主体的参加や貢献について、広報活動や研修会等を通じて周知し、市民意識の啓発を図る。

出典：神栖市地域医療体制検討委員会議論のまとめ（令和2年3月）

（参考）市民・企業への情報提供と普及啓発の取組み

冊子発行
R2. 11

意見募集
R2. 12～

整理分析
～R3. 7

懇談会開催
R3. 7. 18

フィードバック
R3. 10～

① 情報提供の冊子発行と市民の声の募集

▼冊子発行 R2.11月
(広報紙折込部数／31,100部)



② 市民と専門家の懇談会開催

懇談テーマ

冊子に寄せられた市民の声の中で、特に関心が高かったものを選定

- 1 かかりつけ医について
- 2 適正受診について
- 3 健康管理について
- 4 救急受入のおこわり解消に向けて
- 5 コロナ禍における拠点病院のある方



③ 懇談会開催結果のフィードバック

冊子発行
(広報紙折込部数／31,200部)

動画配信
(動画5本の合計再生回数／1,391回)



神栖市若手医師きらっせプロジェクトによる取組み

I 産業都市神栖の発信

令和2年度～：産業医学基礎研修会の開催

主催：茨城県医師会 主管：鹿島医師会 協力：神栖市若手医師きらっせプロジェクト

産業医資格取得に
必要な単位(全50単位)

前期	14単位
後期	26単位
実地	10単位

令和3年度神栖市の
産業医研修会(全70単位予定)

前期	14単位
後期	40単位
実地	16単位

- 後期研修と実地研修は生涯研修(更新には20単位以上必要)を兼ねています。
- 実地研修は地元企業協力のもと実施！

産業医の経験豊富な講師陣が、産業医活動のリアルを通して講義してくれるので、実践に大変役に立ちます。約半年で50単位を無理なく取得でき(70単位分を行うので全て出席できなくても可)、神栖市内の医療機関の医師は研修費助成、優先予約があります。是非当地の魅力に触れながら楽しんで研修しましょう！



神栖市若手医師きらっせプロジェクト推進会議委員
神栖市産業医学研修プログラムリーダー 田中 完

令和2年度実績

日程：R2. 9～R3. 5(全16日間)
講師：延べ35人
参加者：637人(22都府県)

令和3年度実績

日程：R3. 10～R4. 6(全16日間)
講師：延べ24人
参加者：687人(22都府県)
協力企業：JSR(10/4、11/1：工場見学)
三菱ケミカル(10/4、11/1：工場見学)
AGC(11/13：座学)
信越化学(12/11：工場見学)
鹿島石油(12/11：工場見学)
LSIメディエンス(1/23：座学)



令和4年度予定

日程：R4. 8～R5. 3(全20日間)

■前期研修

08/06(土)・08/07(日)

10/22(土)・10/23(日)

■実地研修・後期研修

08/27(土)・08/28(日) 座学：カネカ

09/10(土)・09/11(日) 工場見学：鹿島石油、AGC

10/08(土)・10/09(日) 工場見学：信越化学、JERA

11/05(土)・11/06(日) 座学：消防本部

12/10(土)・12/11(日) 座学：鹿島埠頭

01/21(土)・01/22(日) 座学：セブンイレブンジャパン

02/11(土)・02/12(日) 座学：ウエルシアホールディングス

03/11(土)・03/12(日) 工場見学：花王、三菱ケミカル、ENEOSマテリアル



II 産業医業務に関心ある 医師の市内就業促進

令和3年度～：産業医実務能力養成プログラムの策定及び提案

神栖市の総合病院等(研修医療機関)で勤務しながら、週1～2日、経験豊富な産業医のもとで産業医実務の実務研修を受け、実践力を養成するプログラムです。

産業医資格の無い方も実務研修を受けながら資格取得を目指すことができます。

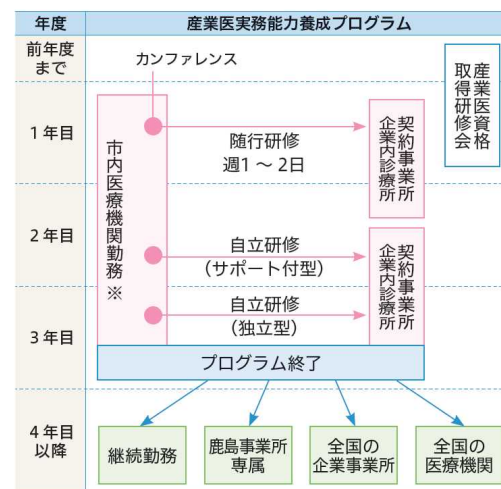
医療機関で勤務しながらの研修なので通常診療に産業医のスキルが加わり、診療能力の向上に繋がります。



鹿島臨海工業地帯を有する神栖市は、多様な企業が立地しているため、産業医のあらゆることが学べます。実務経験が無いと産業医としての採用は難しいので、この地域で一緒に学びましょう！

社会福祉法人 白十字会 白十字総合病院
消化器内科 部長 赤井 博孝

産業医実務能力養成プログラムに参加する常勤医師に対する支援制度もあります。



※神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック

令和4年度：神栖産業医トレーニングセンターの開設

- ・白十字総合病院・神栖済生会病院の2つの病院内に、新たに「神栖産業医トレーニングセンター」が開設。
- ・鹿島臨海工業地帯周辺で働く人をサポートするとともに、産業医の育成に取り組む。
- ・社会医学系専門医研修プログラムの提供

神栖済生会病院

白十字総合病院

神栖産業医
トレーニングセンター

- ・令和5、6年度にかけて、産業医業務を通じた神栖市への勤務に興味を持つ方10人からオファー(うち5人は内々定)

III (目標)臨海コンビナート企業への産業医の斡旋・派遣

議題5 産業医体制の充実について

令和4年度 産業医学基礎研修会(実地研修)に係るアンケート結果

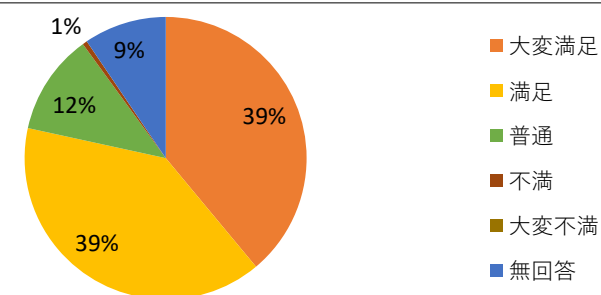
1.実地研修開催形式について

回答数 80



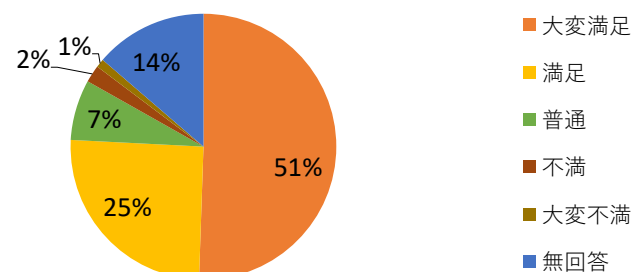
3-1.講義内容の満足度

回答数 176



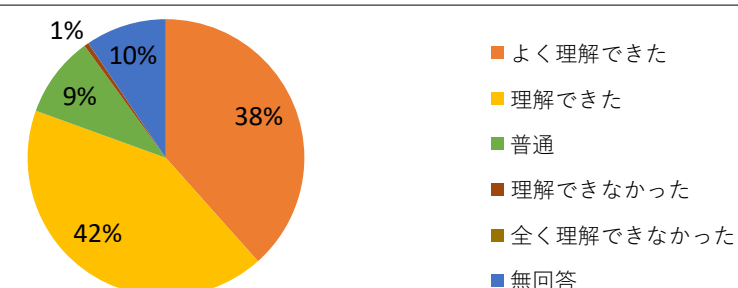
2-1.工場見学の満足度

回答数 82



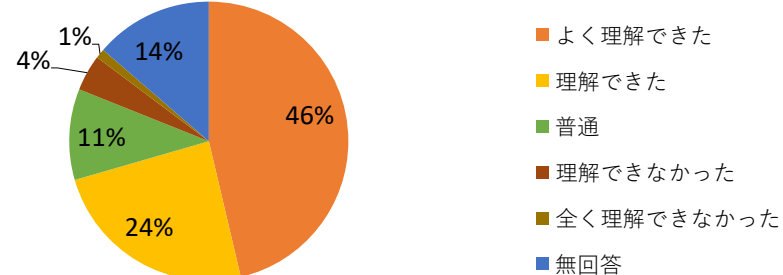
3-2.講義内容の理解度

回答数 172



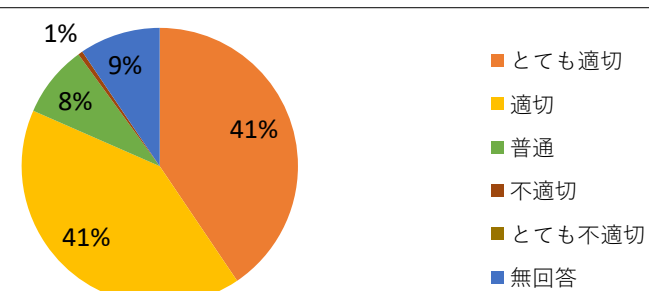
2-2.工場見学の説明内容

回答数 82



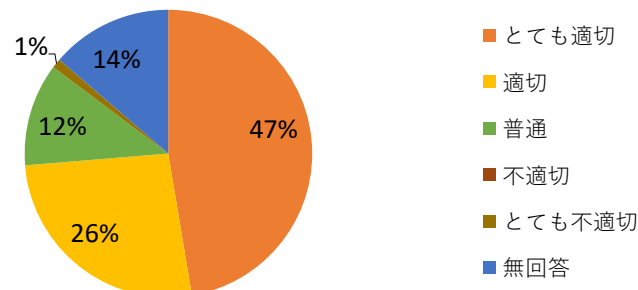
3-3.講義の進捗や時間配分

回答数 172



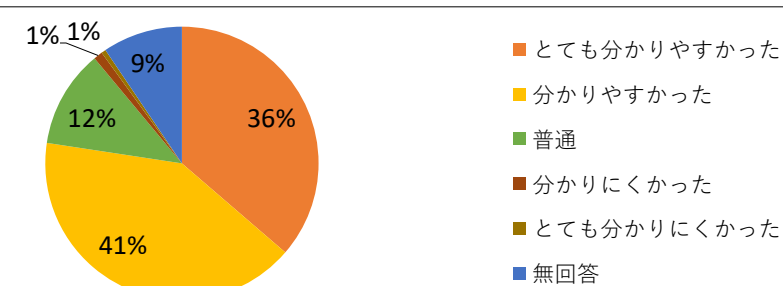
2-3.工場見学の時間配分

回答数 82



3-4.資料の明瞭さ

回答数 172



神栖市 看護職合同 就職相談会

参加費無料・入退場自由



託児付(要事前申込)

自分の新しい可能性
探しに行こう！

2022年12月11日

10:00～12:00 / 13:00～16:00

参加施設

- 白十字総合病院
- 神栖済生会病院
- 鹿嶋ハートクリニック
- 茨城県ナースセンター

会場

鹿島セントラルホテル
新館 2階 桐の間

〒314-0144 茨城県神栖市大野原 4-7-11

※駐車場を無料でご利用いただけます

対象者

- 看護職へ就業希望の方
(新規・再就業・転職)
- 看護学生
- 看護学校等に進学希望の方

主催

神栖市

相談内容

個別相談会

- 職場環境、研修・教育体制、勤務時間・給料・福利厚生など施設の特徴を聞くことができます。
- 復職のための復職支援研修やキャリアプランの相談も受付しています。

修学資金相談会

市や各病院の「看護師修学資金制度」をご案内します。
お気軽にご相談ください。

来場特典

当日ご来場いただいた方に、プレゼント
(ピーマンソフトクリームなど)がございます！
ぜひ事前登録をしてお越しください。

申込方法



QRコードからお申込ください
お電話でお申込も可能です
下記お問合せ番号へおかけください
申込期限:12月5日(月)

お問合せ先

神栖市役所 市長公室地域医療推進課

〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991-5

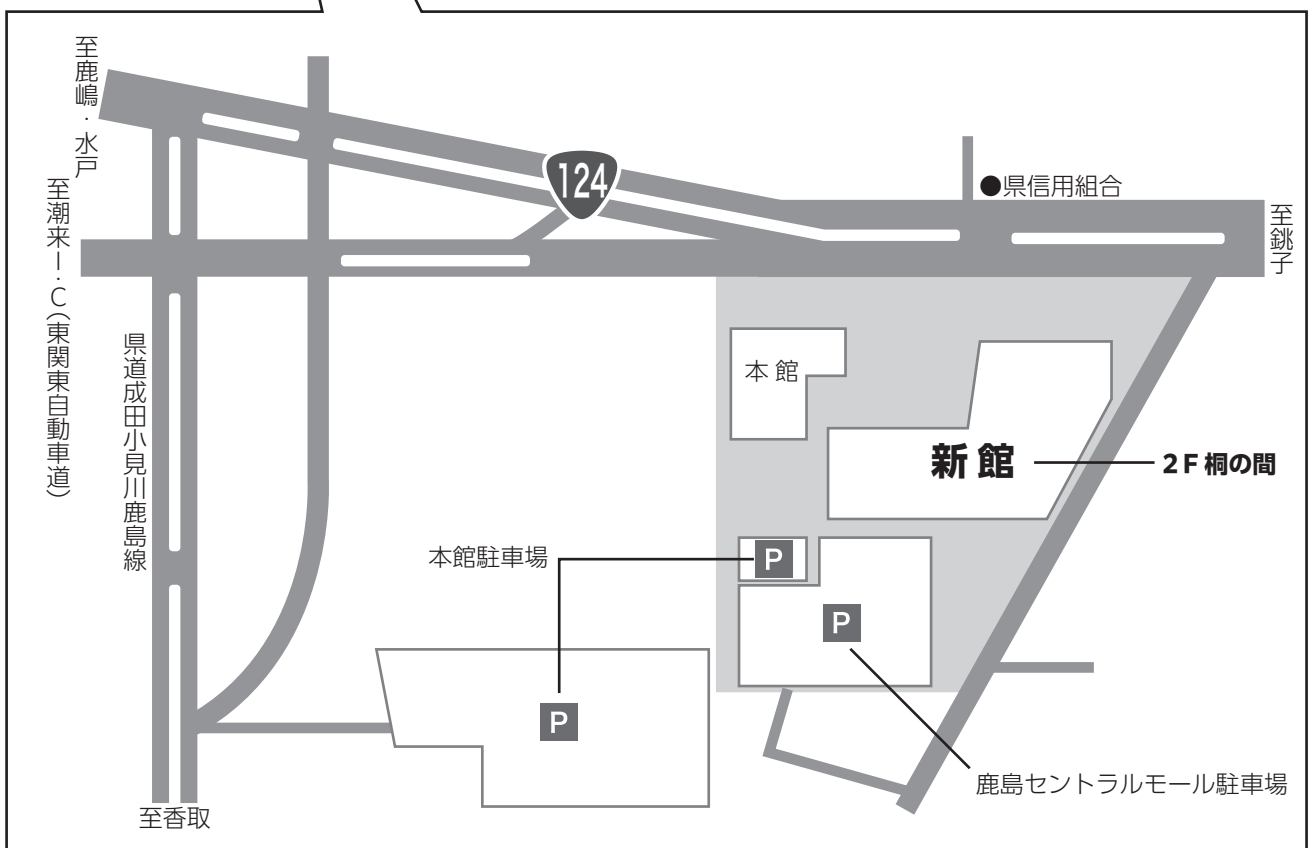
TEL : 0299-77-8207 (直通)

E-mail : iryo@city.kamisu.ibaraki.jp

<神栖市内 MAP>



<鹿島セントラルホテル周辺 MAP>



<お車でのご来場>

- ・東京～潮来～鹿島セントラルホテル
- ・「東関東自動車道潮来 I.C. より 10 分」
- ・土浦～鹿島セントラルホテル 「90 分」
- ・水戸～鹿島セントラルホテル 「90 分」
- ・成田～鹿島セントラルホテル 「60 分」
- ・銚子～鹿島セントラルホテル 「40 分」

※一般道を通行、おおよその目安です。

<電車でのご来場>

- ・東京～千葉～成田～佐原～潮来
「潮来駅より 11km、タクシーで 15 分」
- ・東京～千葉～成田～佐原～小見川
「小見川駅より 9km、タクシーで 13 分」
- ・水戸～鹿島
「鹿島神宮駅より 11km、タクシーで 15 分」